

## 編集後記

1990年代の失われた10年、21世紀初めの通信バブル崩壊で低迷していた日本の製造産業は、マクロ的には最近の日経平均株価の上昇に見るように復活の兆しが現れてきていますが、勝ち組、負け組という言葉で語られるように、まだ模様のように思います。企業が持続的成長を果たして存続していくにはどうすればいいのか、多くの企業が例外なく問い続けている命題でしょう。中長期的に将来を予測したり、こうありたいと考える社会を想定して、自分たちの持つコンピタンスを進化させたり新たな技術を導入したりしています。

2005年には地震、津波、ハリケーン、鳥インフルエンザなどの自然の脅威を改めて実感し、またJR脱線事故やビルの耐震偽装事件など、システムや技術への信頼が揺らぐ事件もありました。生命、安全、環境が社会における最大の関心事となってきており、私たち製造産業に携わる人間は、生命の安全や環境への配慮に対して、技術によって幾ばくかの貢献を図りたいと考えています。未来への希望を託した愛知万博（愛・地球博）において、ロボット制御に弊社の高精度センサ技術が採用されましたが、弊社はコネクタ、センサ、光技術などを通じて、「モノとモノのつながり」から「ヒトとモノ、ヒトとヒトのつながり」へと発展させ、将来社会に向けても永続して貢献していきたいと考えています。

「航空電子技報」本号の「技術紹介」「製品紹介」を一読していただき、皆様の事業の進展の一助となれば幸いと存じます。また、将来に向けた技術開発、製品開発の道を共に歩んでいくことを願っています。

### 編集メンバー

請地 光雄	高田 徳郎
大野 正弘	竹田 直身
岡田 健一	鳥飼 俊敬
丘山 洋	野島 良明
小野川明浩	萩原 健治
倉本 健次	宮崎 勝
桜井幾久雄	宮本 稔之 (五十音順)

### 航空電子技報 NO.29 (非売品)

無断転載を禁じます。

2006年3月31日発行

発行人 潟岡 泉（取締役中央研究所長）

発行所 日本航空電子工業株式会社

TEL 03-3780-2711

制作 株式会社 東京クリエイティブ